



久多・百井 かがやき新聞 6月号

久多中の町で「アイガモ農法」に挑戦しています

昨年、久多で企画された「市民参加型の米作り体験」が、今年度も実施されます。実施場所は（昨年同様）久多中の町田圃（二反）です。米作り体験に参加されている方々は、昨年度も参加している方が多く、米作り体験が「まちの方々」にとって、（毎年）継続して参加したい企画であることと共に、久多が「また訪れたい」素敵な場所であることを感じます。

米作り体験を実施しているのは「久多コメ作り体験グループ」で、代表は中坊明正氏、参与に岡田芳治氏（久多自治振興会長），事務局は南佳孝（かがやき隊）が務めさせていただいております。

今年度の米作り体験は「アイガモ農法」にチャレンジしています。アイガモ農法は獣害対策の（細目）ネット張り，テグス張り，カモ世話など，普段の米作りとは別の手間がかかり，米作りを初歩から学んでいる私は「米作り」「カモ世話」どちらも初めての作業が多く，予測できないことの連続ですが，参加する「まちの方々」には，カモ小屋作り，カモ世話，獣害対策のアイデアをいただき，6月8日（金）現在，田んぼに設置した小屋でくつろぐ「アイガモの姿」を無事に観察できました。



アイガモが泳ぐ姿がみられるのは6月11日以降となりそうです。それまでは獣害対策に努めます。

百井まるごと夏まつりで地域めぐりツアーを開催します

5月30日（水）百井自治会館にて，8月5日（日）開催が決定している「百井まるごと夏まつり」の実施内容が検討されました。

その中で「昨年と違うこともやりたい」と，新たに企画されたのは「百井地域をめぐるガイドツアー」です。ガイドツアーは，百井出身の方々が地域を紹介しながら各所を巡り，所々に設置したスタンプをスタンプ台紙（先に参加者にお配りする）に押してもらい，スタンプをすべて集めた方には，「百井の魅力いっぱいのお土産」をプレゼントする，という内容です。百井地域の人だけが知っている「百井の魅力」を，ガイドツアーに参加した「まちの方々」に知っていただき，「また百井を訪れたい」と思っただけのことに目指して取り組んでいます。



百井まるごと夏まつりチラシ（制作中）には，精華大学卒業生/高木氏のイラストが使用されます。

「久多荘文書」刊行記念シンポジウムに参加しました

6月2日（土）「左京大博覧会 2018」の催しとして，『久多荘文書』刊行記念シンポジウムが行われ，会場（参加者100名超）は満席となりました。基調講演「久多，はるかなる中世から現代まで」では，京都市歴史資料館/野地秀俊氏から，久多に残る中世資料の解説が行われ，参加者から「久多は中世の若狭～京都を結ぶ鯖街道の要所にあり，賑わい栄えた様子が目に浮かんだ」との声を聞きました。シンポジウムでは岡田会長，奥出一順氏が登壇し，岡田会長からは（久多伝統行事）弓はじめ，もちぶるまい，花笠踊等が紹介され，志古淵神社にまつわる「筏ながしの神様」（川に住まうとされる）「ガワラ」が紹介されました。奥出一順氏からは，（久多で）週末に農的暮らしを行っていたことがきっかけで移住し，現在は農家民宿を営んでいること，海外のお客様が多いこと等が紹介されました。



シンポジウムには，京都市歴史資料館から宇野日出生氏（司会），野地秀俊氏，久多から岡田芳治氏（久多自治振興会長），奥出一順氏（農家民宿「おくで」店主）が登壇しました。



7月から，かがやき隊員が大原にも配属され，左京区北部山間地域は3名体制となります

京都市文化市民局 地域自治推進室
京都市北部山間かがやき隊左京区担当
南佳孝
Mail: miqdc318@city.kyoto.lg.jp
久多出張所 tel:075-748-2020

◎左北山間の初夏は新緑が美しい季節で，あまご釣りを楽しむ「まちの方々」も，清流「久多川」「百井川」「上桂川」に見られます。学生時代は京都まちなかの「蒸し暑さ」に辟易したこともありますが，久多，百井の夏季は快適で嬉しいかぎりです(ω)ノ